

2013年10月2日

NTT 都市開発株式会社
大成建設株式会社
ヒューリック株式会社
東京都市開発株式会社

芝浦水再生センター再構築に伴う上部利用事業
ビル名称ならびにロゴマーク決定のお知らせ

NTT 都市開発株式会社、大成建設株式会社、ヒューリック株式会社及び東京都市開発株式会社は、東京都港区港南一丁目において計画を進めております「芝浦水再生センター再構築に伴う上部利用事業」のビル名称を「品川シーズンテラス (Shinagawa Season Terrace)」に決定し、併せてロゴマークを作成しましたので、お知らせいたします。



「品川シーズンテラス」という名称は、環境配慮型のオフィスビルとそのテラスとなる四季折々の表情を見せる広大な緑地とを表現しています。

品川駅周辺開発やリニア始発駅など今後の発展が期待される品川エリアの中で、この場所を中心に、人と人、都市と自然など様々なものがつながり、時とともに成長していく魅力あふれるまちづくりを目指します。

ロゴマークは、国際ビジネス拠点のランドマークを目指すオフィスと、ふれあいやにぎわいを生み出す広大な緑地をモチーフに、シャープなラインで表現することでオフィスと緑地が一体となったまちの先進性、将来性をデザイン化しています。

なお、本ビルに関する情報をご覧いただけるよう、公式サイト (<http://www.shinagawa-st.com>) を開設いたしましたので、併せてお知らせいたします。

以上

(計画の概要・特徴は別紙をご参照下さい。)

<本件に関するお問い合わせ先>

NTT都市開発株式会社

総務部 広報担当

(03)6811-6241

(別紙)

1. 建築計画の概要

所 在：東京都港区港南一丁目 2 番 6 (地番)

主要用途：事務所、店舗、集会場、駐車場等

敷地面積：49,547.86 m²

延床面積：205,785.83 m² (下水道施設を含む)

階 数：地下 1 階、地上 32 階

構 造：鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造、免震構造

駐車台数：369 台

設計監理：株式会社 NTT ファシリティーズ、NTT 都市開発株式会社、大成建設株式会社、
日本水工設計株式会社

施 工：大成建設株式会社

竣 工：2015 年 2 月末 (予定)

2. 計画の特徴

(1) 国内、そして世界へつながる交通アクセス

本ビルは、東海道新幹線をはじめ JR・多数の私鉄各線が乗り入れる品川駅から徒歩 6 分の立地です。さらに、国内外の玄関口である羽田空港へのアクセスビリティにも優れています。

(2) ふれあいやにぎわいを生み出す 3.5 ヘクタールの緑地

本ビルでは、オフィスビルが立ち並ぶ都市の中に、エリア周辺との一体感を大切にしながら 3.5 ヘクタールの広大な緑地を生み出します。四季折々の表情を見せる多種多様な樹木、水辺、広々とした芝生広場を整備し、憩いの場・イベントスペースなど様々なアクティビティにも利用できる豊かな空間の提供を目指します。

(3) 国内最大級のスケール・1フロア 1,500 坪のオフィスフロア

オフィスフロアは 1フロア 1,500 坪の整形であり、お客様のニーズに応じた効率的かつ自由なレイアウトを可能とします。オフィスには、LED照明、高性能 Low-E 複層ガラスなど省エネ性能に優れた設備を採用しています。また、色彩豊かな緑地や臨海・都心の眺望を活かした受付や応接室などのレイアウトも可能です。

(4) オフィスワーカーの幅広いニーズに対応するビジネスサポート機能

1階から3階にはバラエティに富んだ飲食店舗やビジネスコンビニを誘致する予定です。店舗からは緑地の眺めが広がり、都市の中でありながら心地よい潤いに包まれる空間を実現します。また、3階にはギャラリーやコミュニティホールを設置し、講演会や展示会、ワークショップなど、企業活動を支えます。アネックスにはクリニックの誘致も予定しており、オフィスワーカーを多方面からきめ細やかにサポートします。

(5) 国内最高水準の環境配慮型オフィスビル

光・風・水など貴重な自然エネルギーを効率よく活用する省エネルギーシステムを積極的に導入しており、環境負荷低減と快適な室内環境確保を両立します。

また、東京都建築物環境計画書において、建築物の熱負荷の低減率（PAL低減率※1）及び設備システム全体のエネルギー利用の低減率（ERR※2）に関して、いずれも最高ランクのAAA（段階3）評価を得ています。また、CASBEE※3最高評価Sランクも取得予定です。

(6) 国内最大級の免震構造と安心の72時間非常時電源供給

本ビルでは、万が一の大規模な地震による被害を最小限に抑えることのできる国内最大級の免震構造を採用しております。また、大規模災害による広域停電や断水などに備え、ビル非常用発電機や貯水槽を設置します。ビル非常用発電機は72時間対応とし、共用部への電力供給に加えテナント専有部へも約10VA/m²の電力供給が可能です。これらにより入居企業のBCPを強力にサポートします。

※1 PAL(Perimeter Annual Load)…建物の断熱・遮熱性能を単位面積当たりの熱負荷で示す指標であり、PAL低減率が大きいほど、建物の断熱性能が高いと評価できます。

※2 ERR(Energy Reduction Ratio)…設備の省エネ効率を、基準値からの低減率で示す指標であり、ERRが大きいほど、設備の省エネ性能が高いと評価できます。

※3 CASBEE…省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮性や、室内の快適性や景観への配慮など建物の品質を総合的に評価する、建築環境総合性能評価システムです。

(位置図)



(全体イメージ)



(建物イメージ)



(南側エントランスイメージ)



(緑地イメージ)



